

1. 取組を実施した背景・課題

- ◇東南アジアやアフリカにおいて冷凍サバの需要が拡大
- ◇ベトナムのTPP加入に伴う関税障壁の撤廃による輸出マーケットの拡大
- ◇銚子地区における生産者・凍結加工業者における冷凍サバ輸出拡大機運の上昇

2. 事業の目的

- 輸出拡大の障害である積出港までの陸送ルートおよびドライバーの確保
- ベトナム国内需要(10kg箱製品)に対応した梱包ラインの整備
- 輸出業務に携わる関係者間の情報共有の推進

3. 協議会構成員の概要

協議会構成員	生産調整	<ul style="list-style-type: none"> ■銚子市漁業協同組合 ■全国水産加工業協同組合連合会
	加工	<ul style="list-style-type: none"> ■全銚子市水産加工業協同組合 ■株式会社 大國屋
	流通	<ul style="list-style-type: none"> ■株式会社 三協 ■有限会社 サトーシーフーズ
外部委託先	システム構築	■オンウェブ株式会社

4. 初年度の取組と成果

(1) コンテナトランスファーステーションの整備



- 協議会構成員(株)三協が設備したコンテナトランスファーステーションの利用を開始
- 冷凍コンテナの長期保管が可能に
- ☞トレーラーヘッドやドライバーが確保できるまでの時間調整により**効率的な輸送を実現**
- ☞令和元年度におけるシャーシ・電源の利用回数はのべ**235回**、**5,875トン**の冷凍サバ輸出の効率化に貢献

(2) 10kg段ボール箱によるサバの梱包ラインの整備



- 従来の15kg箱ラインとの併用による効率化
- ☞生産の効率化により**5%の人件費節減**
- 10kg箱製品の輸出により新規マーケットを開拓
- ☞ベトナム向けの令和元年度の冷凍サバ輸出額は**約2億7,000万円**となり、**前年比約5倍の売り上げ**を実現
- ☞輸出された冷凍サバの平均単価は前年対比**8.75%向上**し、高付加価値化を実現

(3) 情報共有システムの構築



- 関係各社が情報を共有できるシステムを整備
- 登録する加工業者各社の加工内容や取り扱い原料等の情報を掲載
- ☞加工業者間での原料の融通や委託加工等、**地域内の連携による効率的な生産体制**を構築
- ☞システムを活用した冷凍加工業者と通関関係者の連携により、**効率的な輸出を実現**

5. 今後の課題と対応方策

- ①**コンテナトランスファーステーション稼働率のさらなる向上**☞コンテナを輸送するドライバー不足の解消とアフリカ向け冷凍サバ輸出の促進による稼働率向上
- ②**情報共有システムの利活用推進**☞構築した情報共有システムのさらなる有効な利活用方策を検討し、効率的な生産・流通・輸出体制を確立

バリューチェーン分析②：水産物流通バリューチェーン輸出拡大連携協議会 (代表機関：全国水産加工業協同組合連合会、千葉県銚子市)

- 凍結魚の輸出においては、産地で生産された凍結魚製品をトラックで国内の主な輸出港に陸送するが、トラックドライバーの不足や非効率的な輸送方式による輸送効率の低下等の原因により物流のボトルネックが生じていた。また、製品の荷姿等、輸出先国のニーズにマッチした商品作りができていない部分があった。
- 産地にコンテナへの一時保管ができる施設を整備して、国内物流のボトルネックに対応するとともに、海外ニーズに対応する製品の製造ラインの整備、構成員間の情報共有システムの構築により、マーケットインの視点で東南アジア、アフリカ諸国向けのサバ類の輸出を拡大する。

課題

- ① 主な輸出港までの国内物流の課題(コンテナヤードの渋滞、物流業界のドライバー不足等)
- ② 輸出先国のニーズにマッチした商品開発ができていない。

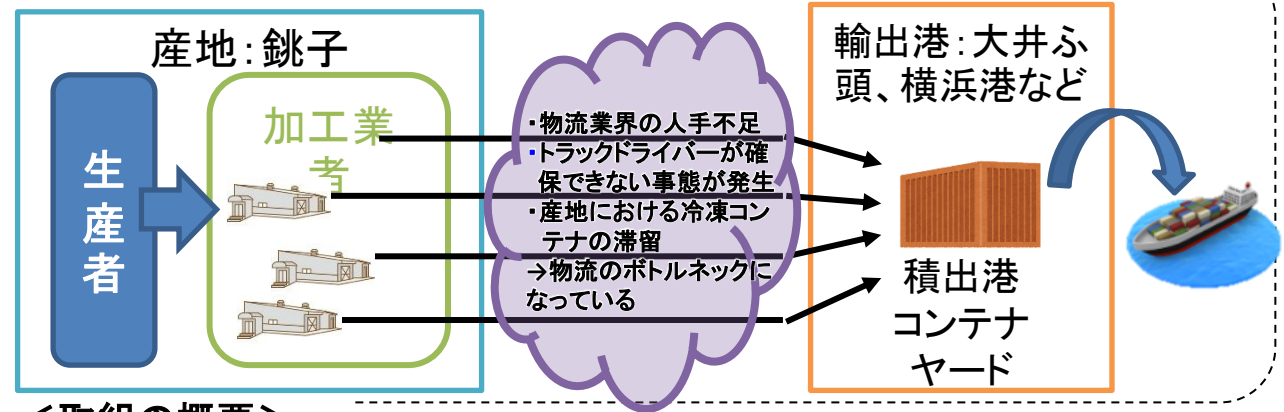
対策

- ① 産地におけるコンテナ流通拠点の整備による流通構造の改善
- ② 主要輸出先国でニーズの高い商品の生産ラインの構築
- ③ 産地の関係者の連携、ニーズに応じた生産等を可能にする情報共有システムの構築

事業の効果

- ① コンテナトランスファーステーションの活用により物流業界の課題に対応
- ② 輸出促進による水産物の付加価値向上

<事業実施前の状況>



<取組の概要>

